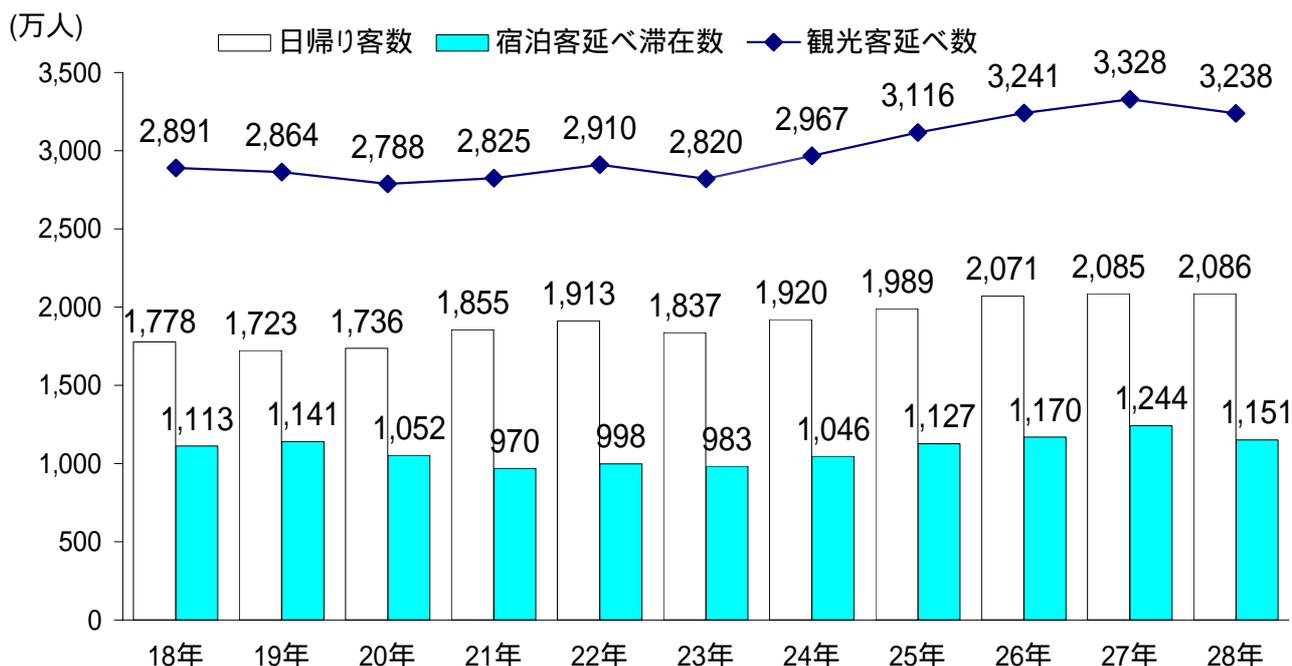


年次別観光客推移



平成28年の観光客数は、4月に発生した熊本地震による予約キャンセルや九州方面への旅行控えなどの影響に加え、昨年の「ふるさと割」の実施や、シルバーウィーク（5連休）、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界文化遺産登録などの反動減が見られた。

これらによる宿泊客の減少は大きく、「九州ふっこう割」商品の販売や、「ねんりんピック長崎2016」の開催及び「長崎デスティネーションキャンペーン」による宿泊客の増加はあったものの、宿泊客延べ滞在数は、昨年から92万人減と大きく落ち込み、1,151万人（対前年比 7.4%）となった。

一方、日帰り客については、熊本地震の影響などによる減少が見られたものの、クルーズ客船の入港隻数が過去最高を3年連続で更新したことなどから、2,086万人（対前年比+0.1%）と5年連続で過去最高を更新し、宿泊客延べ滞在数と合わせた観光客延べ数は3,238万人（対前年比 2.7%）となった。

平成28年の観光消費額は、平均単価は伸びたものの観光客延べ数が減少したことにより、3,689億円（対前年比 3.9%）と平成23年以来5年ぶりに減少となった。

日帰り客、宿泊客別に見ると、日帰り客は1,705億円（対前年+0.2%）と増加したが、宿泊客は1,984億円（対前年比 7.2%）と大幅な減少となった。

（県観光振興課）